

平成28年度 学校自己評価表

(計画段階 ・ 実施段階)

福岡県立八幡高等学校長 印
(全日制課程)

学校番号

21

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)
学校運営方針		
「伝統の継承と諸課題の克服・創立100周年に向かって更なる向上」(継往開来)を目指す。		
昨年度の成果と課題	28年度重点目標	具体的目標
本校独自の教育活動を継承し、発展させながら、高い進学率を維持するとともに、大学合格も向上し、今年度は、学校創立100周年に向けて、高い志をもち、主体的・意欲的に生徒の育成に努め、伝統を継承し、発展させる強い組織の構築と、また、5年間のS・S・Hの活用を推進し、生徒の育成に努め、保護者・地域・同窓会と連携し、魅力ある学校づくりに努める。	「鍛ほめ福岡メソッド」の実践により自律性や忍耐力を身につけさせるとともに高い志を育み、希望進路を実現するための確かな学力を育成する。	○生徒の意欲や向上心を高めるスピードとパワーのある授業の実践。 ○教師の自己研鑽と職員研修会等の充実による授業力の向上。 ○進路指導についての全職員による情報共有と、3年間を見通した学力向上戦略の構築。 ○高い志をもって意欲的に学習に取り組む生徒の育成。 ○コミュニケーション力、発信力を高める機会の設定。
	生徒の意欲や主体性を育む。自立心と愛校心を基にした行動力を身に付けさせ、学校創立100周年にむかおう勢いを付ける。自他の人権を尊重し、社会の一員としての責務を果たす意識を高める。	○自立心(自分で意識し考え見通すこと、何かを乗り越えやり遂げる力)の育成。 ○学校教育全体をとおしての、八高生としての意識作りと品格ある所作の習得。 ○リーダーシップの育成。 ○自他の人権や命を尊重する精神を身に付けるための教育の推進。 ○生徒が主体となって活動する生徒会活動、学校行事、部活動の一層の推進。
	生徒の特性や能力を一層伸ばし、個性に応じた積極的・意欲的な進路指導を展開する。	○高大接続・大学入試改革、現行の推薦入試・AO入試等の情報の共有と効果的な進路指導の推進。 ○理数科と普通科が切磋琢磨する教育活動の展開による、学力と進路決定力の更なる向上。 ○生徒の難関大への志望意欲を高めるとともにその合格へ向けた取組の強化。 ○生徒の意欲を向上させる同窓会や外部講師による講演会の実施。
	S・S・Hで得たノウハウを基軸としてさらに理数科教育を充実させ、特色ある教育を推進する。	○S・S・H指定の5年間で得た理数教育に関する知識や手法を活用し、理数科教育を基軸とした理数教育の充実と、その研究成果の学校全体の教育活動への反映。
	地域やPTA・同窓会との連携をより一層強め、教育活動の積極的発信を行う。	○学校のホームページ等多様なメディアの活用。 ○学校説明会等による、本校の特色ある教育活動の、本校保護者、中学生やその保護者及び地域住民への発信。

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題
教務班	主体的な学習態度の育成と、思考力を高める学習指導の実践	知識の定着を図るとともに、生徒の能動的な参加を促す授業を実践する。 学力に応じた課題を課し、成果を評価し、学習意欲を向上させる。 一斉指導とともに個別指導を充実させ、生徒の主体的な学習態度を向上させる。	A A B	・基礎学力の定着と思考・表現力の育成 ・生徒の主体的学習態度の育成と向上 ・授業改善の推進と評価の改善
S・S・H推進班	第一期S・S・H事業の一般化	5年間の実施事業の効果を検証し、実施内容を精選する。 主体的・協働的な学習活動を実践する場を提供する。 第一期と経過措置の成果を生徒・職員・近隣校に積極的に広報する。	A A B	・第2期申請準備 ・全職員によるアクティブ・ラーニング ・アンケート集約、報告書作成
生徒指導班	魅力ある学校づくりと規範意識の高揚・マナーの向上	学校行事への積極的な取組と部活動の充実を図る。 すべての教育活動において規範意識を高め、マナーの向上を図る。 保護者に対してもマナー向上のお願いと協力の依頼を継続する。	A A B	・生徒が主体となって活動する生徒会活動、学校行事、部活動の推進 ・車での送迎におけるルールの徹底
保健班	健康管理意識と美化意識の醸成	健康診断の円滑な実施及び事後指導の徹底を図る。 委員会活動の推進により、主体的に取り組む生徒を育成する。 「美化強化週間」の設定と点検内容の可視化を図る。	A A A	・危機管理マニュアルの早期点検及び他分掌と協議しての改善 ・美化週間等の取組の充実・発展
進路指導班	授業力の向上と生徒の第一希望進路の達成	希望進路を実現するために必要な総合的学力を養成する。 低学年から難関大・難関学部志望者を組織的に育成する。 学力養成のための質的な教科指導力の向上を図る。	A B A	・難関大志望者の組織的な育成 ・進路シラバスの作成 ・総合的な学習時間の学習内容の見直し
情報班	I・C・T機器の保守管理と利用推進	I・C・T機器の保守管理を確実にを行う。 I・C・T機器の充実を図ると共に利用状況を把握する。 I・C・T機器を利用した授業研究を推進する。	A A B	・電子黒板の配置と利用状況の確認 ・教室プロジェクターの活用状況の集計 ・研修班との連携によるICT機器利用の授業研究
研修班	授業の改善と授業研究	アクティブ・ラーニングを積極的に導入する。 ICT機器の効果的な利用法に関する研修を推進する。 本校3ヵ年を見通した各教科毎の授業設計を確立させる。	A A B	・教員の授業力向上の更なる推進 ・各研修への積極的参加の推進 ・本校3ヵ年計画の授業設計の確立
図書班	読書意欲の喚起と図書館の有効利用	朝の10分間読書を有意義なものにする。 教科授業や総学、進路指導において、図書館利用を推進する。 芸術鑑賞会を実施し、芸術に親しむ態度を涵養する。	B A A	・朝読の時間の有効化 ・図書館利用のいっそうの推進 ・魅力ある芸術鑑賞会の実施
総務・広報班	円滑な関係業務運営及び学校認知度の向上	確実な連絡・調整によって学校行事や関係諸業務を円滑に運営する。 八高の魅力を分かり易く発信し、認知度を高める広報活動を行う。	A B	・詳細な協議による運営の推進 ・発信のあり方や協力体制の構築
第1学年	学年テーマ「情熱～志を立てる～」をもとにした人間形成	挨拶の徹底および出席皆勤240名以上を目指す。(各クラス30名以上) 進路指導と個人面談を充実させ、具体的な進路目標を確立させる。 愛校心と感謝の心を育み、学校・部活動等におけるリーダーを育む。	B A A	・ルール・マナーに対する意識向上 ・2年間を見通した進路指導の充実 ・教育方針をもとにした人間形成
第2学年	我慢強さと夢を育み進路実現の気概を養成	他を思いやり、物事に感動できる豊かな人間性を育む。 基礎学力を定着させ、進路実現の礎とする。 中核学年としてのリーダーシップを育成する。	A B A	・進路実現に資する学力の育成 ・最上学年としてのリーダーシップの育成
第3学年	充実した高校生活と希望進路の実現	基礎学力を定着させ、応用力の育成に取り組む。 社会に出るにあたっての規範意識を育てる。 部活動や学校行事に積極的に取り組ませる。	B A A	・入学時より3年間を見通した継続的指導の徹底